

国立大学法人岐阜大学中期目標

平成22年 3月29日 文部科学大臣提示

平成23年 3月30日 文部科学大臣変更提示

平成26年 3月25日 文部科学大臣変更提示

(前文) 大学の基本的な目標

【理念】

岐阜大学は、「学び、究め、貢献する」地域に根ざした国立大学として、東西文化が接触する地理的特性を背景としてこの地が培ってきた多様な文化と技術の創造と伝承を引き継ぎ、人と情報が集まり知を交流させる場、体系的な知と先進的な知を統合する場、学問的・人間的発展を可能とする場、その成果を社会に発信し、有為な人材を社会に送り出す場となることによって、学術・文化の向上と豊かで安全な社会の発展に貢献する。

【目標】

1) 岐阜大学は、人材養成を最優先事項として位置付け、質・量ともに充実した教育を行い、豊かな教養と確かな専門的知識・技能、広い視野と総合的な判断力、優れたコミュニケーション能力に加え、自立性と国際性を備えた高度な専門職業人を幅広い分野で養成し、社会に輩出する。

2) 岐阜大学は、優れた教育を実践するための研究基盤を維持するとともに、生命科学及び環境科学分野をはじめとする独創的、先進的研究の拠点形成を目指し、その成果を社会に還元する。

3) 岐阜大学は、多角的な教育力及び研究力により、地域の諸課題に取り組み、地域社会において存在感のある大学として、地域社会の活性化に貢献する。

4) 岐阜大学は、教育と研究の特性を生かした大学の国際化を推進し、学生や教職員の国際的通用性を高め、地域社会の活性化に貢献する。

◆ 中期目標の期間及び教育研究組織

1 中期目標の期間

中期目標の期間は、平成22年4月1日から平成28年3月31日までの6年間とする。

2 教育研究組織

この中期目標を達成するため、別表1に記載する学部・研究科及び別表2に記載する教

育関係共同利用拠点を置く。

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育に関する目標

(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標

- ①社会で生涯にわたって高度な専門職業人として活躍するために必要な、総合的な判断力や優れたコミュニケーション能力等の基盤的能力と専門的能力を自立的に学習する教育を実現する。
- ②大学の入学者受入れの方針に沿って、学部・大学院の教育方針を明確に提示する。
- ③教育方法や学習環境の改善につなげるため、学生と教員の双方が到達目標とその水準を明確にして学習成果を評価する。
- ④国際化に対応するために、教育課程の特性に応じた英語教育の導入と国際交流活動を推進する。

(2) 教育の実施体制等に関する目標

- ①組織及び教員個人の教育力向上のための適切な評価を行う体制を改善・強化する。
- ②教育の質の維持・向上の観点から、組織の見直しや他大学との連携を行う。
- ③教育効果を高める観点から教育環境について点検・改善・整備を行う。
- ④国際化に対応するための体制を整備し、充実させる。

(3) 学生への支援に関する目標

- ①入学から卒業・修了までの学生生活全般にわたる支援体制及び環境を整備し、充実させる。
- ②学生の自立的学習、コミュニケーションを促進する環境整備及び学習支援体制を整備し、充実させる。

2 研究に関する目標

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

- ①優れた教育を実践する基盤となる研究活動を全国的・国際的水準で展開する。
- ②社会的要請や地域課題に応える研究、及び本学の地域性や人的資源を活かした特色ある研究を推進する。
- ③国際的研究拠点等を目指して、これまで培ってきた環境科学や生命科学系の独創的、先進的研究をさらに発展させる。

(2) 研究実施体制等に関する目標

- ①教育の基盤である研究活動の促進と研究の質及び研究力の向上を図るため、研究環境を整備し、充実させる。
- ②地域貢献や本学の特色化に資する研究を実施するために、研究施設・大学院等の研究基盤を教職員の柔軟な配置等により戦略的に整備し、充実させる。
- ③環境科学や生命科学系の研究を柱とした独創的、先進的研究の拠点を形成する。
- ④国際的な研究活動を積極的に展開し、研究成果及び人材育成を通して国際貢献に寄与する。

3 その他の目標

(1) 地域を志向した教育・研究に関する目標

- ①地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究を推進する。

(2) 社会との連携や社会貢献に関する目標

- ①地域に根ざした国立大学として、多角的な研究能力を活用して、自治体等との組織的な連携活動を推進し、その継続を通して地域の諸課題の解決や地域の再生・発展に貢献する。
- ②地域産業界及び自治体との連携・協力を推進し、学術資源の活用によって地域産業の振興に貢献する。
- ③地域の教育機関等との連携と大学の教育機能の開放を強化し、地域の生涯学習の振興に貢献する。
- ④地域医療の確保や進行する高齢社会の諸問題の解決支援に貢献する。

(3) 国際化に関する目標

- ①大学の国際化を推進するための体制を整備し、充実させる。
- ②大学の国際化への取組成果を活かし、社会に貢献する。

(4) 附属病院に関する目標

- ①地域の中核となる医療人を育成する。
- ②地域連携の基盤に立ち、高質な医療を提供する。
- ③拠点病院の機能を活用し、EBM (evidence based medicine) を確立するための臨床研究の推進と新規医療技術開発を遂行する。
- ④迅速な経営判断に基づく経営基盤の強化と効率的な組織運営を行う。

(5) 附属学校に関する目標

- ①実践的教育に基づく教員養成の推進に協力し、教育の質を向上させる。

II 業務運営の改善及び効率化に関する目標

1 組織運営の改善に関する目標

- ①学長のリーダーシップに基づき、教育研究の向上に資する大学経営・組織運営を推進する。
- ②学長を中心としたリスク・マネジメント体制を整備する。

2 事務等の効率化・合理化に関する目標

- ①恒常的に事務組織の見直し、事務の改善等を行うとともに、事務職員の資質を向上させる。

III 財務内容の改善に関する目標

1 外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標

- ①教育研究活動の活性化と水準を向上させるため、科学研究費をはじめとする外部資金を充実させる。
- ②医学部附属病院と応用生物科学部附属動物病院の一層の財務改善を進め、収入を増加させる。
- ③「岐阜大学基金」事業を充実させる。

2 経費の抑制に関する目標

(1) 人件費の削減

- ①「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」(平成18年法律第47号)に基づき、平成18年度以降の5年間において国家公務員に準じた人件費削減を行う。更に、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」(平成18年7月7日閣議決定)に基づき、国家公務員の改革を踏まえ、人件費改革を平成23年度まで継続する。

(2) 人件費以外の経費の削減

- ①財政面から教育・研究の水準を維持・向上させるために、固定的経費の定期的な見直しを行い、管理的経費等を抑制する。

3 資産の運用管理の改善に関する目標

- ①土地、建物、大型研究施設設備等の現有資産の効果的、効率的な運用を積極的に行う。

IV 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

1 評価の充実に関する目標

- ①岐阜大学への各部局と教員の貢献度を評価するための岐阜大学評価システムをより信頼と実効あるものにし、岐阜大学の活力とブランド力を高める。

2 情報公開や情報発信等の推進に関する目標

- ①適時適切な情報公開や情報発信等を国内外に積極的に行う。

V その他業務運営に関する重要目標

1 施設設備の整備・活用等に関する目標

- ①大学の教育研究等の目標の実現や経営的観点を踏まえたキャンパス全体の整備構想に基づき、良好なキャンパス環境を形成する。

2 安全管理に関する目標

- ①安全教育等予防的措置も含めた安全衛生管理体制を整備する。

3 法令遵守に関する目標

- ①経理の適正化等、法令に基づく適正な法人運営を行う。
- ②情報管理の徹底を図り、情報セキュリティを高める。

別表 1 (学部、研究科等)

<p>学 部</p>	<p>教育学部 地域科学部 医学部 工学部 応用生物科学部</p>
<p>研究科</p>	<p>教育学研究科 地域科学研究科 医学系研究科 工学研究科 応用生物科学研究科 連合農学研究科 (岐阜大学) (静岡大学) ※連合大学院である 連合獣医学研究科 (岐阜大学) (帯広畜産大学) (岩手大学) (東京農工大学) ※連合大学院である 連合創薬医療情報研究科 (岐阜大学) (岐阜薬科大学) ※連合大学院である</p>

別表 2 (教育関係共同利用拠点)

<p>医学教育共同利用拠点 (岐阜大学医学教育開発研究センター)</p>
